

動物用医薬品

指定医薬品

注射用ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン



共済薬価収載品



要指示医薬品

動物用ゴナトロピン® 3000

本剤はヒト絨毛性性腺刺激ホルモンの注射用凍結乾燥製剤であり、用時、添付の溶解液により溶解して用います。ヒト絨毛性性腺刺激ホルモンは胎盤由来の糖蛋白質であり、雌性動物に対しては主に黄体形成ホルモン（LH）様作用を持ち、卵胞刺激ホルモン（FSH）様作用は弱く、雄性動物に対しては間質細胞を刺激し、男性ホルモンを分泌させます。

成分・分量	1アンプル中ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン3,000単位
効能・効果	<p>馬（雌）：卵胞のう腫、排卵障害、卵胞発育障害（卵巢発育不全、卵巢静止、卵巢萎縮）</p> <p>牛（雌）：卵胞のう腫、排卵障害、卵胞発育障害（卵巢発育不全、卵巢静止、卵巢萎縮）</p> <p>豚（雌）：卵胞発育障害（卵巢発育不全、卵巢静止、卵巢萎縮）、分娩後の発情誘起</p> <p>犬（雌）：卵胞発育障害（卵巢発育不全、卵巢静止、卵巢萎縮）、無発情期における発情誘起</p> <p>馬（雄）：精巣機能減退（交尾欲減退）</p> <p>牛（雄）：精巣機能減退（交尾欲減退）</p> <p>豚（雄）：精巣機能減退（交尾欲減退）</p>
用法・用量	<p>添付の溶解液に溶解し、1日1回1頭当たりヒト絨毛性性腺刺激ホルモンとして下記の量を注射します。</p> <p>馬（雌）：1,500～6,000単位（筋肉内、皮下注射）</p> <p>牛（雌）：1,500～10,000単位（静脈内、筋肉内又は皮下注射）。但し、卵胞のう腫の場合はのう腫腔内、卵胞発育障害の場合は卵巢実質内に1,500～3,000単位を注射します。</p> <p>豚（雌）：1,500～3,000単位（筋肉内注射）</p> <p>犬（雌）：150～3,000単位（筋肉内注射）</p> <p>馬（雄）：1,000～2,000単位（筋肉内注射）3日ごとに投与します。</p> <p>牛（雄）：1,000～2,000単位（筋肉内注射）3日ごとに投与します。</p> <p>豚（雄）：1,000～2,000単位（筋肉内注射）3日ごとに投与します。</p>
使用上の注意	添付文書等を参照してください。
有効期間	3年（包装に表示の使用期限内に使用してください。）
貯法	密封容器で、遮光して冷所に保存してください。
包装	<p>3,000単位 × 5（アンプル）</p> <p>[溶解液：0.6%塩化ナトリウム溶液5mL × 5（アンプル）添付]</p>